

会 議 録

会 議 の 名 称	第 7 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開 催 日 時	令和 5 年 2 月 8 日 (水) (午前・午後) 2 時 開会 (午前・午後) 4 時 開会
開 催 場 所	茨木市役所 南館 8 階中会議室
議 長	山本 博史 氏 (追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授)
出 席 者	【評価委員】 山本 博史氏 (学識経験者)、河合 将生氏(NPO 関係者)、高田和子氏(地域活動関係者)、板倉幸司氏(公募市民) (4 人) 【事務局】 高崎市民協働推進課長、山本市民協働推進課市民活動係長、 濱田市民協働推進課職員 (3 人) 【関連課・担当課】 農林課、こども政策課、環境政策課、中央図書館、政策企画課、人権・男女共生課 (6 課)
開 催 形 態	原則公開
議 題 (案 件)	(1) 概要説明及び会議の公開・非公開の決定 (2) 各団体による事業報告及び質疑応答
配 布 資 料	・ 第 7 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和 4 年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・ 事業報告関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及びあいさつ、本日の会議の概要説明 公開・非公開の決定について（原則公開） ----- 事業報告開始 -----
団体	【自由テーマ型】 地産地消推進型マルシェ「いばらきマルシェ超（スーパー）」 茨木コモンズ
関連課	【関連課 意見】
河合委員	【質疑応答】 ・ うまくいかなかったことや課題として残ったことはどういったことか。 →商品が少なく見た目が寂しかったことと、商品が売り切れたため先に帰った農家の方もいたこと。農家の方にも楽しんでもらえる仕組みやコンテンツを増やしていきたい。
板倉委員	・ 3回目の実施とのことで認知度は上がってきているのでは。事前に目標を設定し、アンケート等を活用して今後につなげる等の工夫もできると思う。 →以前、アンケートを取った際に面倒くさがられることがあったので、今後は工夫して実施したい。また、朝どれ野菜をメインにしているため、流通面に課題を感じた。
団体	【自由テーマ型】 ひとり親家庭及び生活の厳しい家庭の学習支援 サポートユニオン withYOU
関連課	【関連課 意見】
河合委員	【質疑応答】 ・ なぜ今年度中学生が減ったのか、補足いただければ。 →1名はクラブとの両立が難しく、退所された。ほか2名、大手の学習塾に入られた子がいた。
河合委員	・ 居場所としての価値も高めていくといいと思う。 →学力向上と居場所づくりを両立していきたいと思う。
団体	【自由テーマ型】 茨木市「生物多様性ぬりえ BOOK」 人を自然に近づける川いい会

関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
板倉委員	・参加人数について →定員を30人としていたが、おひろめイベントには32人の参加があった。
板倉委員	・ぬりえの対象者について →こどもに限らず大人のぬりえも流行っているので、幅広く使えるよう作成した。
団体	【自由テーマ型】 コロナ禍中における創作活動による読書推進 茨木市立中央図書館友の会「萌」
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
山本委員長	・図書館外での活動で、課題等を感じた点はあるか。 →これまでとは対象者が異なるので、普段とは異なる方々に知ってもらうことができ、事業の発展を感じられた。
河合委員	・参加者の声はまとめているのか。 →団体としてではなく、図書館がアンケートを取っている。
団体	【自由テーマ型】 小学生はじめてのプラモデルづくり事業 いばらきキッズプラモクラブ
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
山本委員長	・次年度以降の展開について →種類を1種類から複数にし、会場も少し場所にしたいと思う。
河合委員長	・事業のねらいはこどもたちにどう伝わったか。 →初めてなので、ひとまずは楽しくやりたいと思っていた。子供たちにとっては、ただ作るのではなく勉強にもなる部分はあったと思う。
山本委員長	他に意見はないか。以上で報告を終了する。
山本委員長	事務局から連絡事項はないか。
事務局	今回の開催は2月13日、場所は茨木市立男女共生センターローズ WAM501・502 となります。

山本委員長	以上で、第7回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。
-------	--